

# 日本の深層

梅

112

N91

242

栗

6

小学館

112  
N91  
242

梅原猛著作集⑥  
日本の深層

常州大学图书馆  
藏书章

小学館

梅原猛著作集 6 日本の深層

二〇〇〇年十二月二十日 初版第一刷発行

著者 梅原猛

発行者 上野明雄

発行所 株式会社小学館

東京都千代田区一ツ橋二―三―一 郵便番号一〇―一―八〇〇―一

電話 編集 〇三―三三三三―一五二四〇

制作 〇三―三三三三―一五三三三

販売 〇三―三三三三―一五七三九

©Takeshi Umehara 2000 Printed in Japan ISBN4-09-677106-6

印刷所 日本写真印刷株式会社

図(日本複写権センター委託出版物)

\*本書の全部または一部を無断で複写(コピー)することは、著作権法上の例外を除き、禁じられています。本書からの複写を希望される場合は、日本複写権センター(☎〇三―三三三三―一五三三三)にご連絡ください。

\*造本にはじゅうぶん注意しておりますが、万一、落丁・乱丁などの不良品がございましたら、「制作部」あてにお送りください。送料小社負担にてお取り替えいたします。





遠野の信仰の中心、早池峰神社に詣でる（1983年 遠野市）



かつては交易港として栄えた十三湊（津軽半島）





山人のすさまじい容貌を思わせる羽黒山の開祖、能除太子（山形県 正善院）

日本の深層／目次

自序

日本の深層——縄文・蝦夷文化を探る

序章 日本文化の源流を探る

「故郷」としての東北

世界最古の文化

「縄魂弥才」ということ

隠された原日本人の魂

日本の基層文化

アイヌ文化と縄文文化

原日本文化への旅立ち

15

21

23



一章 大和朝廷の前線基地・多賀城

多賀城と大宰府

戦いの碑

わが母なる東北

二章 「大盗」もふれえなかつた平泉文化の跡

母の里・渡波

奥州の中心・平泉

アイヌ文化と平泉

優美なる毛越寺

藤原氏滅亡のあとに

三章 宮沢賢治の童話が語る日本人の心の深層

日いずるところ・北上

鬼と権現様

縄文の遺民・マタギ

宮沢賢治の世界

修羅の世界を超えて

賢治の靈力

光太郎の自虐

四章 山人と神々の声がこだまする遠野

柳田国男と『遠野物語』

山人と里人

おしらさまと性器崇拜

五章 強い自負と奔放な想像力をもつ東北の詩人たち

失意の詩人・啄木

東北人の自負

六章 洞窟の奥深く隠されたもの

祭と熱狂

「洞穴」の意味するもの

「火」と縄文文化

黄泉の国への入り口

七章 みちのくの果てに栄えた華麗な文化

北上川の哀感

俘囚の民

火の神とともに

夷には夷を

白木の霊性

霊地と死霊信仰

祖先の血の温もり

磨消縄文の世界

縄文文化の美

土偶の呪術性



八章 デイオニュソスの空想と熱狂の地・津軽

祭と死霊

デイオニュソスの熱狂

虚無の思想の誘惑

太宰治と『津軽』

津軽人の自尊心と想像力

津軽を彩る霊の世界

津軽は謎の国

九章 「おしらさま」の意味するもの

おしらさまの本山・久渡寺

聖なる女性・イタコ

人形の原型

「地にあるものたち」への共感

白木崇拜の意味

ストーンサークルの謎

134

150



石柱は宇宙のシンボル

アイヌと古代日本人

アイヌ異民族説の誤謬

閉ざされていたアイヌ研究

なまはげの怒り

十章 生霊、死霊の故郷・出羽三山

175

死霊のすむ山

山岳崇拜と仏教

山人のすさまじき顔

聖域としての温泉

終章 新たな文化原理の発掘

184

別章1 会津魂の深層

188

『古事記』の世界

出合いの場所

越の縄文文化とのつながり

農業文化の先進地

縄文の呪術的世界と弥生の理性

倫理観の大きな違い

古墳にみる中央権力

反中央権力の僧

徳一と会津

会津の中の日本

## 別章2 山形紀行

序

山寺

熊祭

ブナ林

終わりに

216



# 東北文化を考える

## 甦る縄文

241

東北文化への新たな視点

古代学から縄文文化へ——私の学問的関心

沖縄文化論と柳田民俗学のゆがみ

アイヌ文化から学ぶもの

縄文文化論の意味

## 日本文化の中の東北文化

271

はじめに

自然人類学の理論

人種と言語の関係

金田一理論の功罪

239

アイヌ語と日本語の相似と差異

記紀・万葉とアイヌ語

東歌とアイヌ語

アイヌ語のもつ世界観と古代神道

日本文化研究のための東北文化の意義

時空を超える再生への祈り

はじめに

アイヌや沖縄文化に縄文の名残

再生を願う胎児と妊婦の葬法

土偶に秘められた深い悲しみ

無限の往還を語る縄文遺跡

共生と循環——縄文の思想

